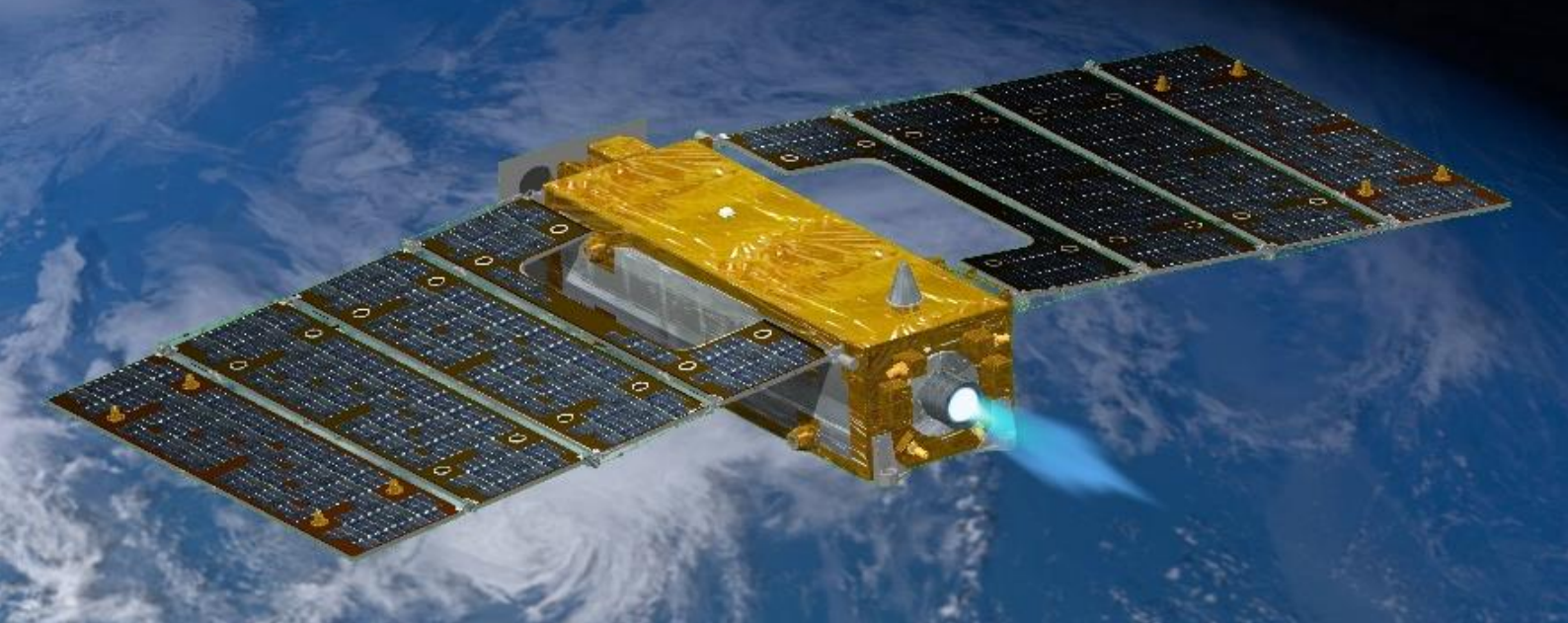




超低高度衛星の利用 に向けたワークショップ

第3回

宇宙航空研究開発機構(JAXA)では人工衛星による新たな価値の創生に向けた取り組みを行っており、その一環として、これまで人工衛星がほとんど利用してこなかった超低高度軌道(180km~300km 程度)における観測を計画しています。

本ワークショップでは、平成 28 年度の打上げに向けて開発を進めている**超低高度衛星技術試験機(SLATS)**のデータ利用機会を提供し、成果を最大化するための以下の研究テーマについて議論を行います。

- ・大気環境モデルの向上
- ・高層大気がもたらす影響を反映した衛星設計基準の策定

また、**将来の超低高度衛星ミッション**に向けて、分野を磁場・重力場などの物理探査、防災など公共活動のための地表観測、気象観測などに広げ、情報交換を行います。

皆様のご参加をお待ちしています。

平成 28 年
2/29 月
10:00 - 17:30

- SLATS 開発状況
 - SLATS 成果利用拡大
 - 高層大気・電離圏/磁気圏分野
 - 物理探査分野
 - 地表観測分野
 - 気象観測分野
- 終了後、懇親会

場所 宇宙航空研究開発機構(JAXA)東京事務所 B101-103
東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 地下1階

参加申込 JAXA 第一宇宙技術部門 SLATS プロジェクトチーム (世話人：川崎、星野)
<http://www.satnavi.jaxa.jp/project/slats/>

定員 60 名



演題 15分(発表 12分、質疑 3分)

		登壇者(所属)※敬称略	SLATS	将来
①オープニングセッション				
開会挨拶	10:00-10:05	山本 静夫(JAXA)		
世話人説明	10:05-10:10	世話人(JAXA)		
②SLATS 開発状況				
1 超低高度衛星技術試験機(SLATS)の概要と開発状況	10:10-10:30	佐々木 雅範(JAXA)	○	
2 AOFS/MDM 開発状況	10:30-10:45	宮崎 英治(JAXA) 木本 雄吾(JAXA)	○	
3 将来超低高度衛星構想・衛星設計標準検討	10:45-11:00	星野 宏和(JAXA)	○	○
③SLATS 成果利用拡大				
4 軌道力学・大気密度計測	11:00-11:15	今村 俊介(JAXA)	○	
5 SLATS 希薄空力特性評価に向けた希薄風洞計測と数値解析	11:15-11:30	小澤 宇志(JAXA)	○	
6 宇宙環境工学の観点から見た SLATS への期待	11:30-11:45	田川 雅人(神戸大)	○	○
7 熱圏大気密度研究の現状と SLATS への期待	11:45-12:00	三好 勉信(九大)	○	○
(昼休み)				
8 共同研究公募要領説明	13:30-13:45	川崎 春夫(JAXA)	○	
共同研究公募要領意見交換	13:45-14:00	—	○	
④高層大気・電離圏/磁気圏分野				
9 超高層大気観測	14:00-14:15	阿部 琢美(ISAS/JAXA)	○	○
10 衛星および地上からの電離圏観測計画について	14:15-14:30	山本 衛(京大)	○	○
11 衛星航法に対する電離圏の影響とその軽減策 —衛星観測への期待	14:30-14:45	斎藤 享(電子航法研)		○
⑤物理探査分野				
12 中性大気密度計測装置の開発状況について	14:45-15:00	東尾 奈々(JAXA)		○
13 超低高度衛星による地球磁場精密観測について	15:00-15:15	能勢 正仁(京大)		○
(休憩)				
⑥地表観測分野				
14 地理空間情報取得・災害状況把握の視点からみた 超低高度衛星への期待	15:30-15:45	小荒井 衛(茨城大)		○
15 超低高度衛星のビジネス展開に向けた期待	15:45-16:00	平松 敏史(パスコ)		○
⑦気象観測分野				
16 航空気象における風観測の現況と衛星観測への期待	16:00-16:15	古川 武彦(気象コンパス)		○
17 ドップラー風ライダーによる大気風観測	16:15-16:30	石井 昌憲(NICT)		○
18 衛星搭載ライダー観測のデータ同化	16:30-16:45	関山 剛(気象研)		○
(休憩)				
⑧クロージングセッション				
課題解決に向けて・まとめ	17:00-17:25	世話人(JAXA)	○	○
閉会挨拶	17:25-17:30	石田 中(JAXA)		

(移動)

懇親会@御茶ノ水 ビアホール

18:00-